武蔵村山市立歴史民俗資料館報

資料館だより

第 8 号

昭和62年 7 月15日

編集・発行　武蔵村山市立歴史民俗資料館　　武蔵村山市中藤6343 TEL 0425(60)6620

写真1　文久元年（1861）

写真2　文久2年（1862）

降臨する薬師如来を拝む家族絵馬（萩ノ尾の薬師堂蔵）

特別展示「武蔵村山市の絵馬」

期間７月19日～９月20日

1.　はじめに

絵馬とは、神仏への祈願や祈願成就のお礼のために、大小の板に様々の図柄を描いて、神社やお寺、祠などに納める奉納物の一種です。

この絵馬奉納のおこりは、神前に馬を献上する風習にあったと考えられています。古来の日本では、馬は農耕や運搬などの日常事を始め軍事面にも多く使われてきましたが、それ以上に神霊が降臨する時の乗物と信じられていました。このような信仰は、今でも祭礼に馬をひいたり、年中行事に馬の飾り物をお供えしたりする風習に名残りをとどめています。祭礼や祈願に際して、神霊の降臨は願わなければならず、そのために神霊の乗物である馬を神前に捧げたのでしょう。

献馬の記録は「続日本紀」をはじめ古い記録に数多くみることができますが、こうした生馬献上が行われる一方、経済的負担を軽くするため、土や木で造った馬形の献上も行われる様になりました。このような馬形が簡略化し板を馬の形に切取った板立馬が生まれ、さらに簡略化し板に馬の姿を描いたものが「絵馬」の原型とされています。

武蔵村山市の寺社等にも多くの絵馬が奉納されています。今回、資料館特別展示として、これらの絵馬を展示・公開し、武蔵村山市に残る習俗の一端を紹介するとともに、文化財保護意識の高揚に努めたいと思います。

2.　絵馬の移り変り

「絵馬」という言葉が文献に登場するのは平安時代中期でありますが、実物はそれより古く、静岡県浜松市伊場遺跡の奈良時代の地層から、馬絵が墨書された小型の桧の薄板（写真３）が出土しています。また、同様のものが奈良県や山形県・秋田県の遺跡からも発見されていて、これらは絵馬の古いものだと考えられています。そうしますと、生馬献上と絵馬奉納の風習が、ある時代には併存していたことになります。

平安時代の末から鎌倉時代にかけては、絵馬奉納の様子が絵巻物などに描かれ、その習俗がかなり広く行われていたことが判ります。また、この時代にはお寺へ奉納する例も登場し、奈良県当麻寺からは鎌倉時代の、また秋篠寺からは室町時代の小絵馬が発見されています。

室町時代までに見られる絵馬は、いずれも小型で図柄も馬とみなされるものがほとんどですが、室町時代も中期になりますと、絵馬は大型化し形や図柄も多様になり、専門の絵師や著名な画家も描くようになりました。こうして、室町時代以後、額に入った芸術的色彩をもつ大絵馬と、民間信仰的色彩の強い小絵馬の二通りの絵馬がつくられる様になりました。

江戸時代になると絵馬を奉納する習俗は盛んになり、大絵馬奉納のために絵馬堂が造られるほどでありました。そして、自由に出入りできる絵馬堂の開放的な性格は、江戸時代の芸術の大衆化に大きく貢献することとなります。一方、小絵馬も江戸では２月の初午や12月の荒神祭の前には絵馬屋が町々を売り歩いた様子が絵草子などに描かれていますし、その奉納は江戸時代後半の文化・文政の項には一つのピークに達しています。この習俗は日本の隅々まで普及しており、伊豆諸島の一つ御蔵島にも島民の生業の様を描いた大絵馬（写真４）が稲根神社に奉納されています。

江戸時代からの絵馬奉納の隆盛は、明治時代までつづきましたが、大正・昭和と時代が下がるにつれてその数は少なくなり、次第にすたれてきました。しかし、

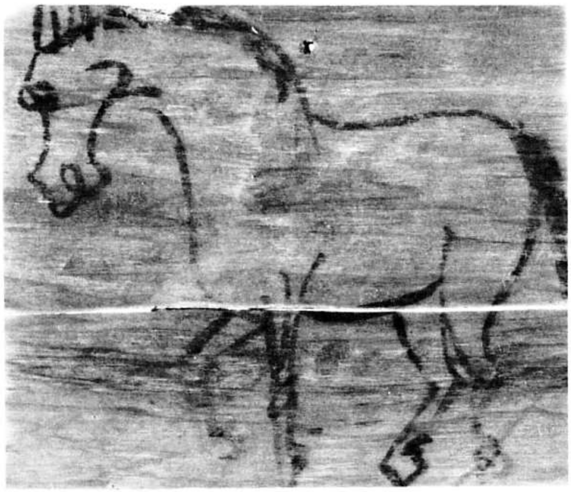

写真3　伊場遺跡出土絵馬(９×7.3㎝)

現代は受験戦争を反映した合格祈願絵馬を中心に交通安全、家内安全等の小絵馬が数多く奉納され、絵馬復活が強く感じられます。

3. 武蔵村山市の絵馬

武蔵村山市内の神社やお寺などにも多くの絵馬が掛けられています。しかし、古老の話などからすると、以前はもっと多い数の絵馬が本殿やお堂などにも掛けてあったそうです。現在、絵馬が残されている寺社は十二所神社や真福寺を始めとして計８ケ所を数え、枚数も58枚程でした。近年、新たに奉納された絵馬を含めると優に100枚を越える数となります。

その中で最も古い絵馬は、萩ノ尾の薬師堂に奉納されている「降臨する薬師如来を拝む家族絵馬」２枚で、文久元年（写真１）、文久２年（写真２）の年号がみられます。この他、江戸時代に奉納されたと思われる絵馬は、仙元神社の「御幣降臨を拝む男絵馬(写真7)」と真福寺観音堂に掛けられていた「裸馬絵馬(写真11)」です。観音堂では江戸時代末期以後、百観音と呼ばれる馬に関する祭事が行われており、その関係の絵馬と思われます。

仙元神社には、それ以外に富士講に関する絵馬や「金太郎と熊図絵馬（写真９)」「奉納刀絵馬」等が掛けられています。その中に「興文宮」銘の絵馬形の奉納額（写真10）がみられます。裏面に安政５年と記されており、これを絵馬とすれば現存する武蔵村山市の絵馬のうち最も古いものとなります。

真福寺にも、明治～昭和初期と思われる15枚の小絵馬の奉納がみられます。これらのほとんどが「むかい目絵馬」であり、これは真福寺の本尊が「薬師如来」だからでしょう。その他は日清・日露戦争当時の軍服姿の「兵隊絵馬」や「母子拝み絵馬」「子供拝み絵馬」ですが、「兵隊絵馬」にも「め」字が描かれています。

明治時代の代表的絵馬は、十二所神社や鍛冶ケ谷戸の八坂神社の絵馬でしょう。十二所神社の本殿には、計９枚の絵馬が掛けられています。その中に、歌舞伎の一場面を題材にした絵馬（写真19・20）が３枚程みられます。特にそのうちの２枚（写真20）は押絵作りです。十二所神社にはこの他に、つまみ細工（袋物）手法の雛型を集めた絵馬（写真22）や「扇と花飾絵馬（写真21)」「大願成就」等の文字絵馬も奉納されています。

写真4 御蔵島 島民生業図絵馬（部分）

八坂神社には、明治28年銘の「日露戦争従軍略記大絵馬（写真23）が奉納されています。この絵馬は奉額型で金塗しを施した色紙形のデザインを用いており、めずらしい絵馬です。八坂神社にはこの他に、長さが４ｍ近くもある牡丹を配した「俳諧絵馬」も奉納されています。

宿の薬師堂には昭和43年に奉納された小振りで形の整った「むかい目絵馬（写真24）」がありますし、日吉神社には８枚の「拝み絵馬（写真25）」と「裁縫絵馬」などが奉納されています。また、吉祥院前の庚申塔には現代の絵馬も含めて14枚が奉納されています。ほとんどが「拝み絵馬」ですが、その中に「青面金剛とお腹の大きな桃持猿に祈願文のある絵馬(写真26)」と「お腹の大きな桃持猿絵馬（写真27・29）」が２枚みられます。いずれも庚申塔に関連させて願掛けしたものと推察されます。

全体的に見ますと、武蔵村山市の絵馬奉納は、仙元神社や真福寺、萩ノ尾・宿の両薬師堂などの様にその祭神や本尊等に関連した絵馬が中心である例や、八坂神社や十二所神社などの様にその地域の鎮守としての役割を担う形で絵馬奉納がなされている例が主な形と言ってよいでしょう。

一方、武蔵村山市の絵馬には著名な絵師等による芸術性に豊んだものは少なく、八坂神社や仙元神社の何枚かに作者の落款が見られるのみです。いいかえれば、武蔵村山市の絵馬はそのほとんどが、神社やお寺などの祭礼や縁日に、あるいは年中行事の折々に、また、時を限らず秘めた願い事を祈願するために心をこめて奉納された「庶民の絵馬」であると言えるでしょう。

4. 写真でみる武蔵村山市の絵馬

(1) 仙元神社

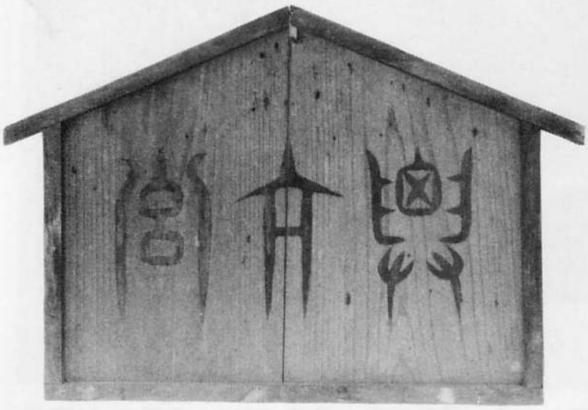

写真5 奉納額（安政５年＝1858）

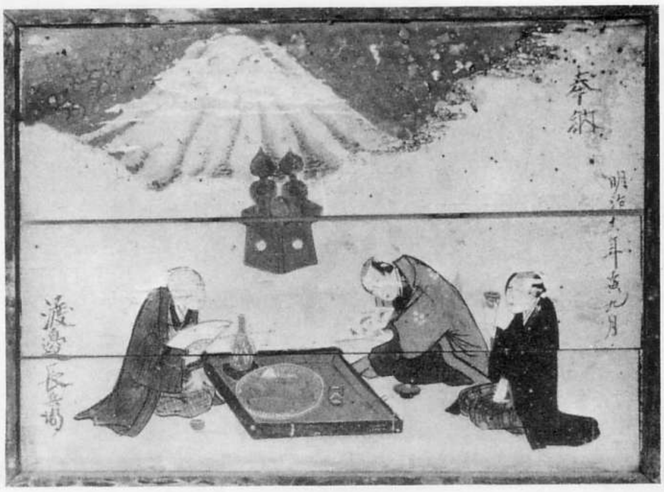

写真6 富士講図絵馬（明治11年）

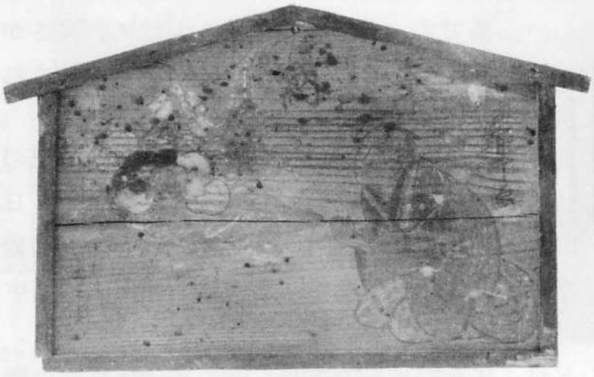

写真7 御幣降臨を拝む男

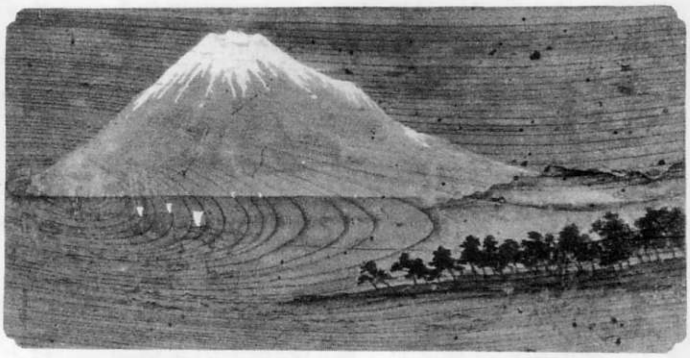

写真8 富士山景絵馬（大正６年）

写真9 金太郎と熊図絵馬

写真10 参明藤開山天絵馬（明治31年）

(2) 真福寺と観音堂

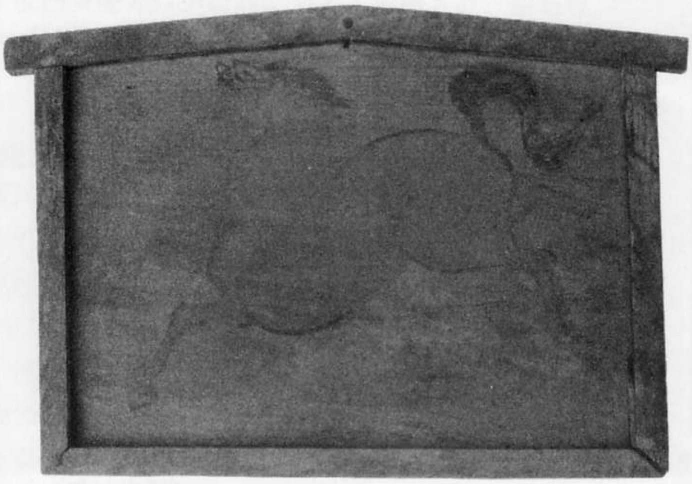

写真11 観音堂の「裸馬絵馬」

写真12 兵隊絵馬

写真13 母子拝み絵馬

写真14 兵隊絵馬

写真15 子供拝み絵馬

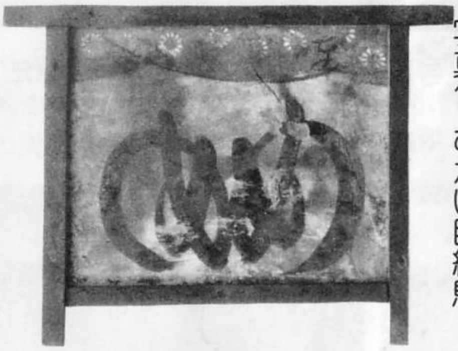

写真16 むかい目絵馬（大正10年）

写真17 むかい目絵馬

写真18 むかい目絵馬

(3) 十二所神社

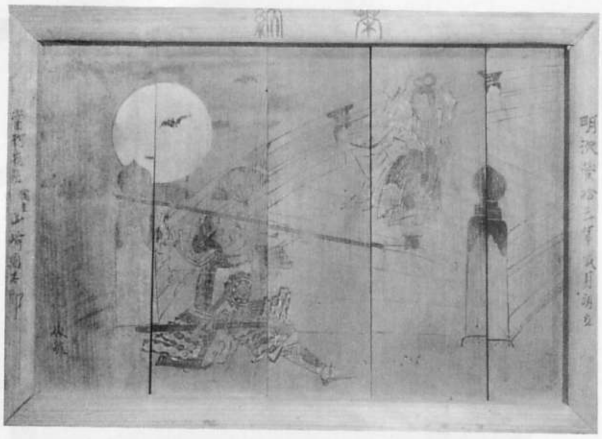

写真19 牛若丸と弁慶，五条大橋図絵馬（明治33年）

写真20 菅原伝授手習鑑，北野社頭の場図絵馬（明治44年）

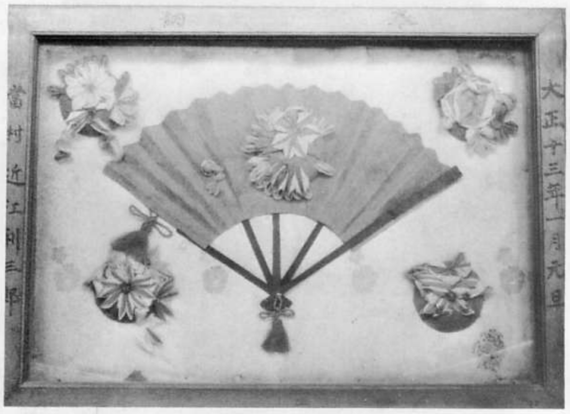

写真21 扇と花飾絵馬（大正13年）

写真22 つまみ細工（袋物）雛型絵馬（大正９年）

(4) 八坂神社

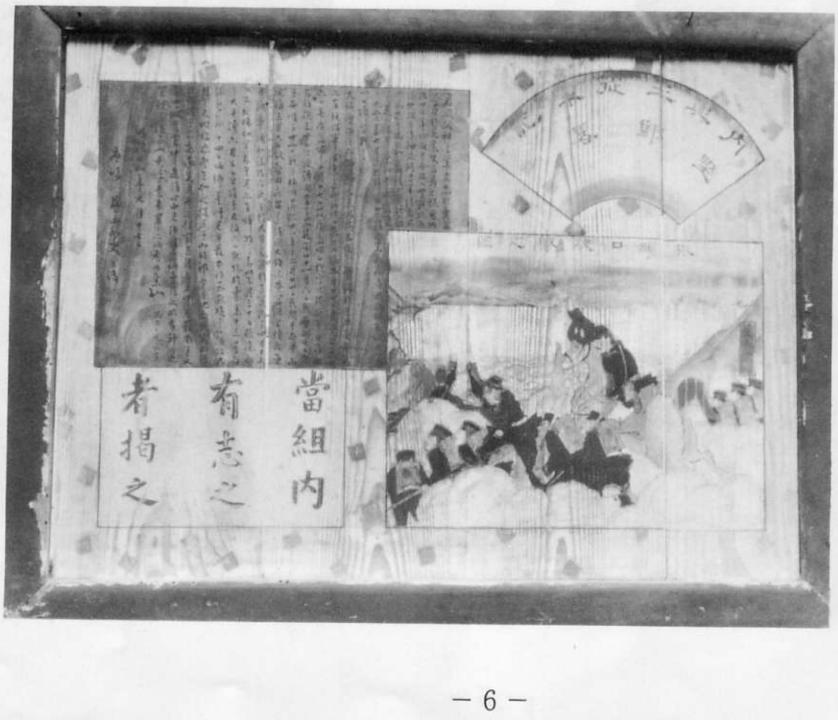

写真23
日露戦争従軍
略記絵馬
（明治28年）

(5)　宿の薬師堂

写真24 むかい目絵馬（昭和43年）

(6)　日吉神社

写真25 親子拝み絵（明治27年）

(7)　吉祥院前の庚申塔

写真26 青面金剛と桃持猿絵馬

写真27 桃持猿絵馬

写真28 尼拝み絵馬

写真29 桃持猿絵馬

写真30 女拝み絵馬

5. おわりに

武蔵村山市内の絵馬奉納は、現在でも御伊勢の森神明社や真福寺などで元旦を中心に行われていますし、横田の子の権現社には現代の絵馬だけ50枚近く奉納されています。それらは合格祈願や家内安全などの小絵馬ですが、絵馬に託す祈りの姿は現代においても脈々と生きているといってよいでしょう。

しかし、新たな大絵馬の奉納もなく、民間信仰的要素の強い小絵馬の奉納もほとんどみられません。と同時に残されている貴重な絵馬も、寺社の改築等によって失われる危機にあると言っても過言ではないでしょう。それだけに、地域の歴史や民俗の生証人とも言える絵馬の保存について早急に図る必要があるのではないでしょうか。

それに加え、絵馬の起源一つをとっても「生馬（せいば）→馬形→板立馬（いたてうま）→絵馬」の一元的発生論に対する疑問や、伊場遺跡出土絵馬が神社へ奉納したとされる絵馬と同種のものであるとする一般的風潮に対し、伊場遺跡発掘報告書の中で歯止めの意味で示された疑問などがあるとおり、絵馬研究も今後の大きな課題といってよいでしょう。

文末にあたり、今回の特別展示に際し貴重な絵馬をお貸しいただいた各神社やお寺等の関係の方々に厚くお礼申しあげますとともに、伊場遺跡出土の絵馬写真借用に御快諾いただきました浜松市博物館及び御蔵島生業絵馬写真を御提供いただいた橋口尚武氏に感謝の意を表する次第です。

寄贈資料

（昭和60年４月１日～昭和62年３月31日）

次の方々より貴重な資料を御寄贈いただきました。ありがとうございました。

番号	寄贈者 住所	寄贈者 氏名	寄贈品 品名	寄贈品 数量	備考
1	三ツ木1050-5	石川伊三郎	ミシン	1点	
			コタツ	1点	
			クワクレ台	1点	
			火鉢	1点	
			製麺機	1点	
			箕他	135点	
2	三ツ木12	比留間邦助	藍甕	2点	
3	三ツ木1201	金井　武雄	記念写真	3点	
4	中藤1-37-1	中藤　祥瑞	縄文土器	1点	
5	中藤3-28-1	内野喜太郎	花火筒、他	5点	
6	大南1-102-4	三沢　勇司	百科事典	18冊	
7	神明3-2	藤野　吉男	唐箕	1点	
			脱穀器、他	9点	
8	中藤1460-548-1	畑山三左衛門	防寒具	1点	
9	神明4-61-2	高橋　圭一	縄文土器	1点	
			打製石斧	34点	
10	瑞穂町箱根ケ崎248	村山　美春	縄文土器、他	10箱	
11	神明2-62-1	峯岸竜太郎	タンス、他	3点	
12	中藤3899	高橋　勝雄	記念写真	1点	
13	中藤1460-368-3	佐藤　文夫	押し花	190点	
14	三ツ木649	山崎　典雄	板碑	1点	
15	三ツ木1150	増尾　権二	タンス	1点	
16	立川市高松町1-11-1	岡野　映子	明治東京全図	1冊	
17	中藤3-30-5	内野　元夫	シマダ糸	3束	
18	三ツ木1245	北多摩建築組合武蔵村山支部	組合旗	1式	
19	中央2-34-3	太子講組合	組合旗	1式	
20	神明3-64-1	藤野　太郎	長持	1点	
			茶ブルイ、他	5点	
21	中藤1460-311-5	北岡とみ子	プロペラ形置き物	1点	
22	神明2-87-5	藤野　清治	唐箕	1点	
23	中央1-65-1	波多野　誠	書籍	5冊	
24	三ツ木7	比留間市郎	書籍	90冊	
			マブシオリキ	4点	
			茶ブルイ、他	34点	
25	三ツ木1050-6	豊泉　林七	タヌキ剥製	1点	
26	府中市栄町1-24-13	増尾　次郎	ミシン	1点	

資料館利用状況（昭和61年４月１日～昭和62年３月31日）

(1) 利用状況

月別	開館日数	利用者数	市内 人数	市内 割合	市外 人数	市外 割合
S 61. 4	24日	1,501人	710人	47.3%	791人	52.7%
5	24	1,377	717	52.1	660	47.9
6	24	999	624	62.5	375	37.5
7	26	1,130	663	58.7	467	41.3
8	26	2,087	1,307	62.6	780	37.4
9	22	923	525	56.9	398	43.1
10	25	1,292	718	55.6	574	44.4
11	23	1,162	594	51.1	568	48.9
12	22	704	526	74.7	178	25.3
S 62, 1	22	758	511	67.4	247	32.6
2	22	1,059	732	69.1	327	30.9
3	24	1,685	1,135	67.4	550	32.6
合計	284	14,677	8,762	59.7	5,915	40.3

(2) 参考（市外利用者の状況）

月別	市外利用者数	三多摩地区 人数	三多摩地区 割合	23区 人数	23区 割合	都外地 人数	都外地 割合
S 61. 4	791人	500人	63.2%	108人	13.7%	183人	23.1%
5	660	412	62.4	152	23.0	96	14.5
6	375	253	67.5	42	11.2	80	21.3
7	467	253	54.2	118	25.3	96	20.6
8	780	447	57.3	149	19.1	184	23.6
9	398	207	52.0	93	23.4	98	24.6
10	574	374	65.2	89	15.5	111	19.3
11	568	300	52.8	146	25.7	122	21.5
12	178	115	64.6	19	10.7	44	24.7
S 62. 1	247	126	51.0	54	21.9	67	27.1
2	327	173	52.9	63	19.3	91	27.8
3	550	312	56.7	118	21.5	120	21.8
合計	5,915	3,472	58.7	1,151	19.5	1,292	21.9